

10年後の伊予市“ありたい姿”未来を語る！

～SDGsを「地域エネルギー」の視点から～

豊かな自然に恵まれている伊予市。みんなで森里川海をつなぎ、豊かに暮らせる街、幸せを実感できる社会となるよう、伊予市が掲げる“まち・ひと ともに育ち輝く伊予市”そして“3万人が豊かに住み続けられる伊予市”の実現に向けて、また、SDGsとともに“誰ひとり取り残さない伊予市”、誰一人置き去りにしないコミュニティづくりを目指しましょう！

今回の例会は、特別ゲストとして武智邦典・伊予市長をお迎えし、SDGsを地域エネルギーの視点から、10年後の伊予市のありたい姿・未来に向け、具体的な議論を展開していきます。ぜひ、ご参加ください。

◆日時：10月15日(金) 18:30～21:00 ※締切：10月13日(水)

◆会場：IYO 夢みらい館・文化ホール (伊予市米湊 768 番地 2)

※コロナの感染状況によって、会場や開催形態を変更する場合がございます。その場合は、ご連絡いたします。

◆参加費：無料

◆目的：地域エネルギー課題の解決
～カーボンニュートラル 2050 年度 CO₂ 排出量ゼロに向けて！～



プログラム

●ゲストスピーカー：伊予市長 武智 邦典 氏 (30分)

「10年後の伊予市“ありたい姿”未来を語る！」

●地域エネルギー提案者の発表 (環境経営委員3名×10分) (30分)

地域資源を使って、CO₂ 排出量削減に向けた具体的な取り組みを提案します。

①太陽光発電：滝口 貴士 氏 (えひめ住販 代表取締役)

太陽光パネルと蓄電池を設置する事業 (LED'S)
再生可能エネルギーを地域の力で創り出し、地域内だけで直接利用する

②小水力発電：入岡 利成 氏 (キカイ・ジャパン合同会社 代表社員)

伊予市地区での一般河川、農業用水、砂防ダムなどの水エネルギーを利用し、水車を回すことで発電する

③バイオマス発電：内藤 昌典 氏 (有限会社内藤鋼業 代表取締役)

地産地消の木質エネルギーを使用するバイオマス発電
内子町の内子バイオマス発電の取り組み

●パネルディスカッション (60分)

ファシリテーター：前田 眞 氏 (愛媛大学社会連携推進機構 教授)



6 安全な水とトイレを世界中に



11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



13 気候変動に具体的な対策を



17 パートナリシップで目標を達成しよう



お申し込みは e-doyu・FAX にてお願いいたします (FAX：089-948-9931)

伊予・松前支部×環境経営委員会 10月合同例会		<input type="checkbox"/> 出席します	<input type="checkbox"/> 欠席します
ご氏名：	会社名：	役職：	
E_mail：			
ゲスト紹介 (氏名：	会社名：	役職：)	